

事業所名	アシスト あおぞら園	支援プログラム(参考様式)	作成日	R8	年	3月	25日
法人(事業所)理念	未来への安心を創造する(利用者・スタッフ・その家族があらゆる不安感を取り除き、利用者・その家族の人生の伴走者となる。)良い時も悪い時も一緒に悩み喜び成長をしていく。振り返った時に良かった、楽しかったと思えるように毎日を支援していきましょう。						
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児・者の方の可能性を無限大に広げる</li> <li>・スタッフの笑顔で利用者の笑顔につながる</li> <li>・障がい者の方の人生をサポートする</li> </ul>						
営業時間	平日	10時	30分	から	18時	00分	まで
	長期	9時	30分	から	17時	00分	まで
		送迎実施の有無		あり		なし	
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<p>食 事 : 食べることの楽しさを育む。食事のマナーや箸やスプーン・フォークの使い方を身につけて行けるようにサポートしていきます。</p> <p>睡 眠 : 身体をしっかりと動かし、夜にしっかりと寝ることができるよう生活のリズムを整えていく。また、ご家族の希望や本人の状況に応じて、午睡ができる環境を整えます。</p> <p>排 泄 : 時間や場面の切り替えで誘導を行います。成功体験を増やして自己肯定感を高めながら自立を目指します。また、排尿排便後に清潔が保てるようトイレトイレットペーパーの使い方などをサポートします。</p> <p>着 脱 : 服の前後や裏表を理解したり、腕・足・頭の通し方など一緒に取り組み経験を積んでいきます。ボタン・ファスナーの開け閉め・靴を左右間違わずに履く等、自立ができるように支援を行います。</p> <p>清 潔 : 手洗い・うがいができるようにサポートをします。汚れに気づいたときには一緒に着替えるなど取り組んでいきます</p> <p>身だしなみ : シャツをズボンの中に入れる。襟をきれいにして上着を着用する。食後に口の周りを拭くなど、自分で意識して直すことができるようにサポートをします。</p>					
	運動・感覚	<p>遊 び : 体を動かす遊びを通じて(ストレッチ、体幹トレーニング、リズム体操など)、楽しく運動能力やバランス感覚を育みます。また、ライフキネティックの理論をもとに視覚情報を適切に認識し、視覚から認知のズレ運動機能のズレを修正し、脳機能改善を行うプログラムに取り組んでいきます。</p> <p>感 覚 刺 激 : 触れる。聞く。見るなどの体験を通じて、五感を刺激します。(アート活動や創作活動(粘土遊び、絵画)。創作に用いる各種、文房具を使うことによる微細運動を促していく。</p> <p>リハビリ : 利用者様が通院している病院の医師や理学療法士、作業療法士の指導のもと、必要なリハビリテーションを図っていきます。</p>					
	認知・行動	<p>学 習 : 入室準備後に課題に取り組み、集中力が高められる様サポートを行っていきます。</p> <p>問 題 解 決 : 自分で考え、解決策を見つける力を育てていきます。一緒に悩み考えることで本人の思いに寄り添いながら、自分の思いを表現する機会を作っていきます。</p> <p>ル ー テ ィ ン : 事業所内でのスケジュールの流れが視覚的にも理解できるように掲示して行く。基本的な生活習慣が身につくように身支度等をルーティン化していく。自分でできる事が増えることで、安定感を得ることができるように支援を行います。また、急な変更にも対応できるように応用力を身に付けて行きます。</p>					
	言語コミュニケーション	<p>話 す 練 習 : 語彙を増やし、単語と意味の理解に努めながら、好きな事や感じたことを話す機会を増やし、相手に伝わることの楽しさを覚えていくことができるように支援を行います。</p> <p>絵 や 言葉で表現するのが難しい場合は、絵や写真、ジェスチャーを使ってコミュニケーションをとる練習をしていきます。</p> <p>シ ン ジ ャ ス チ ャ ー :</p> <p>読 み 書 き : 興味のある本を読んだり、簡単な文章を書いたりする練習を通じて、言語の能力を育みます。帰りの会で絵本を読むことで言葉に触れる機会を作っていきます</p>					
	人間関係社会性	<p>友 達 と 同じ空間で過ごし、おもちゃを共有して遊ぶ経験を積んでいきます。支援者が橋渡しになり友達と関わる機会を作っていきます。おもちゃの貸借などを遊 ぶ : 通して、「かして」「いいよ」「ひとりであそびたいよ」など、自分の思いを相手に伝える大切さを学んでいきます。</p> <p>グ ル ー プ チームで協力できる活動を経験することで、社会性を育みます。同じことをする楽しさを知ったり、一つの目標に向かって別々の事に取り組むことがある活 動 : 事など、いろいろな経験を積んでいきます</p> <p>地 域 活 動 : 季節のイベントや地域を散策する機会を作ることで、地域の方と関わる活動に参加し社会への理解を深めます。</p>					

<p>家族支援</p>	<p><b>情報提供と相談支援</b>  <b>定期的な保護者面談</b>          本人の支援状況や課題、成長についてご家族と共有し、家庭での対応方法について相談します。</p> <p><b>専門家からのアドバイス</b>          必要に応じて、心理士・言語聴覚士などの専門職によるご家族向けのアドバイスや相談会を実施します。</p> <p><b>地域資源の紹介</b>          福祉サービス、療育機関、就労支援サービスなど、利用可能な地域の支援機関を紹介します。家庭での対応方法の指導をします。</p> <p><b>子どもとの接し方のアドバイス</b>          行動面、コミュニケーション面での課題に対し、適切な対応方法を伝えます。例えば、生活習慣を整えるための具体的な支援等も考えていきます。</p> <p><b>具体的なスキル練習の提案</b>          家庭で取り組める課題(例:金銭感覚を養うための買い物練習、時間の管理など)を提供し、実践をサポートします。</p> <p><b>心理的サポート</b>  <b>カウンセリングの提供</b>          子育てのストレスや悩みを軽減するため、保護者向けの個別カウンセリングを実施します。</p> <p><b>ペアレントトレーニング</b>          お子さまの行動を理解し、適切に対応するためのトレーニングを行います。実践的な内容で、家庭での育児ストレスを軽減します。</p>	<p>移行支援</p>	<p><b>移行計画の作成と定期的な見直し</b>          年に1回、関係機関(学校、相談支援事業所、就労支援機関)と合同でカンファレンスを実施します。</p> <p><b>学校や保護者との連携強化</b>          定期的にご家族と面談を実施し、進路希望や不安点を確認します。          学校や保育所の訪問を行い、学校の先生と情報共有します。          学校や保育所での実態と放課後デイや児発での様子を共有し、一貫性のある支援を行います。</p> <p><b>職業体験の機会提供</b>          法人内での「お仕事体験」(掃除、荷物整理、B型での体験対応など)短時間の職業体験を実施します。</p> <p><b>進学・就職の情報提供と見学の機会</b>          卒業生の就職場所等の情報の提供を行います。</p> <p><b>移行後のフォローアップ支援</b>          必要に応じて、進学・就職先と情報共有し、支援を継続します。</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<p><b>地域の学校との連携強化</b>          特別支援教育コーディネーターや担任と定期的な情報共有会を開催          保育所や学校での個別支援会議やケース会議に参加。          先生向けの障がい理解・支援研修の提供</p> <p><b>他事業所(相談支援・訪問看護・療育施設など)との連携</b>          定期的な事業所間の合同研修・意見交換会の実施します。          必要に応じて、連携支援計画を立てます。          地域の障害児支援ネットワークの構築していきます。</p> <p><b>地域の企業と連携した職業体験・社会参加支援</b>          本人の好きな事を探し、それが職業体験へとつなげることができるように支援を行います。</p> <p><b>福祉・医療機関との連携</b>          作業療法士・言語聴覚士・心理士などと連携した支援プログラムの提供          障がい児支援に関する最新情報を共有し、質の高い支援を実施</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p><b>定期的な研修の実施</b>          障害特性の理解、支援技術の向上、応急対応、法制度の変更などについて、月1回の勉強会や外部研修を実施します。</p> <p><b>OJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)の充実</b>          ベテラン指導員によるマンツーマン指導を導入し、実際の支援場面での対応を学ぶ機会を増やします。</p> <p><b>事例検討会の開催</b>          児童ごとの支援方法について意見交換する場を設け、チーム全体で支援の質を高めます。</p> <p><b>スーパービジョンの導入</b>          外部の専門家(心理士、作業療法士、ソーシャルワーカーなど)による指導を受ける機会を作ります。</p> <p><b>振り返りとフィードバックの強化</b>          日々の支援の振り返りを行い、他の指導員や管理者からのフィードバックを受けて成長できる環境を整えます。</p> <p><b>マニュアルの整備と更新</b>          新人向けの基本マニュアルと、実践的な事例をまとめた応用マニュアルを整備し、定期的にアップデートします。</p> <p><b>ICT(情報通信技術)の活用</b>          個別支援計画や日報の作成を効率化するためのアプリ導入や、オンライン研修の活用を推進します。</p> <p><b>職員間のコミュニケーション促進</b>          チームミーティングや意見交換の場を設け、指導員同士が互いに学び合える環境を作ります。</p> <p><b>保護者・地域との連携強化</b>          保護者との情報共有を密にし、地域の支援者や関係機関と協力しながら、より良い支援を実現します。</p>

	春(4月～6月)	夏(7月～9月)	秋(10月～12月)	冬(1月～3月)
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園・入学・進級お祝い会</li> <li>・お花見</li> <li>・こどもの日イベント (こいのぼり制作・ゲーム)</li> <li>・母の日・父の日制作 (プレゼン作り)</li> <li>・カ土交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕イベント (短冊作り・飾りつけ)</li> <li>・夏まつり (屋台遊び、ヨーヨー釣りなど)</li> <li>・水遊び</li> <li>・ずいか割り</li> <li>・校外学習 (公園・遊園地・工場見学等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会 (ミニ競技、リレーなど)</li> <li>・ハロウィンイベント (仮装・お菓子配り)</li> <li>・紅葉狩り</li> <li>・クリスマス会 (ミニゲーム・ワークショップ・ バザー・きっずDJ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年会 (福笑い・すごろくなどの正月遊び)</li> <li>・節分イベント (豆まき・鬼のお麵づくり)</li> <li>・ひな祭りイベント (ひな人形作成・ちらし寿司)</li> <li>・お別れ会 (事業所を卒業する方)</li> </ul>
	年間通じて			
	・避難訓練(事業所毎・法人全体)	・お誕生日会		